

JR東海労ニュース

No.1763

2012年10月30日

JR東海労働組合

平成24年度第2四半期決算経営協議会開催
決算は増収・増益！通期では予想を上方修正！

直ちに不当労働行為を止めろ！

10月30日、本部は2012年度第2四半期決算の経営協議会を開催しました。会社から、「連結決算は、東海道新幹線のご利用が堅調に推移したことで大幅な増収となった。営業収益7,898億円、純利益1,142億円の過去最高となり、通期予想は営業収益を1兆5,800億円、営業利益4,070億円、経常利益3,060億円、純利益1,870億円に上方修正する」と説明がされました。

藤広副委員長は、「10月15日、会社が組合の掲示物を一方的に撤去したことは不当労働行為であると東京地裁で判断がされた。関西地区でも掲示物を一方的に撤去する不当労働行為を行っている。猛省し不当労働行為を直ちに止めること！」と抗議し、謝罪を求めました。また、①社員が気持ちよく働ける環境を作るために会社は真摯に組合と協議をすること②前年度を上回る営業収益を上げ、通期も1兆5,800億円と上方修正した。これは社員の努力のたまものであり年末手当と来年度の賃金に反映させること③希望する社員全員を65才まで雇用すること④東海道新幹線の大規模改修工事を前倒し、心配される東南海沖地震にも備え早急に地震対策を講じること。その後にリニア建設の取り組みを⑤在来線で見張員が触車事故で亡くなった。万全な安全対策と設備投資をすること⑥沿線で行われた6回のリニア中央新幹線説明会は、沿線住民に納得いく説明がされていない。納得できる説明をすること、と主張しました。

リニア建設説明会は沿線住民に納得できる説明を！

65歳まで希望者全員の雇用確保を！